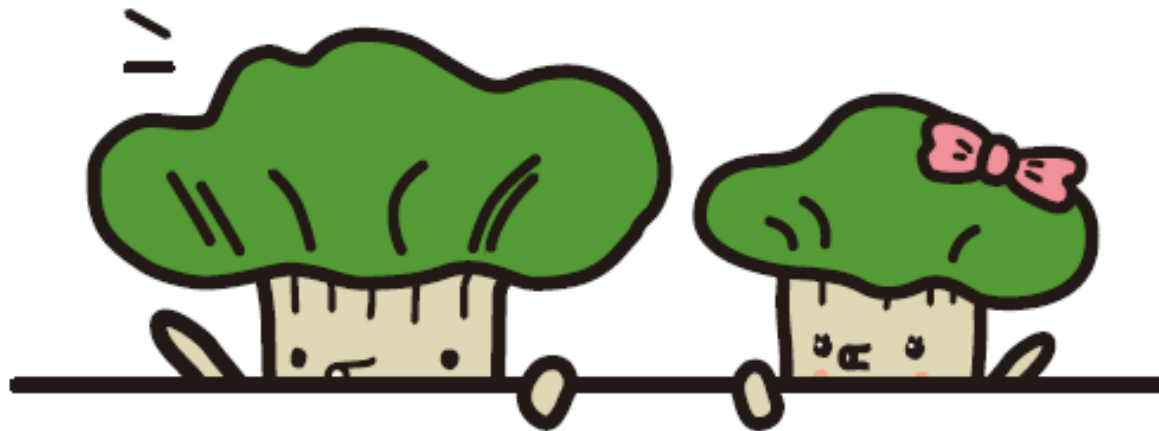


個人投資家向け会社説明会



つなぐを化学する
荒川化学工業株式会社

常務取締役 経営企画室長
延廣 徹

2017.11.6

証券コード 4968

本日の内容

1

沿革

ロジンと歩んで140年

2

事業と強み

ココにも！つなぐ技術

3

中期経営計画

Dramatic SHIFT 1

4

株主還元策

株主・投資家さまとの関わりあい

ロジンと歩んで140年



経営理念

**個性を伸ばし
技術とサービスで
みんなの夢を実現する**

明治9年 大阪 道修町で創業

道修町は薬のまち！

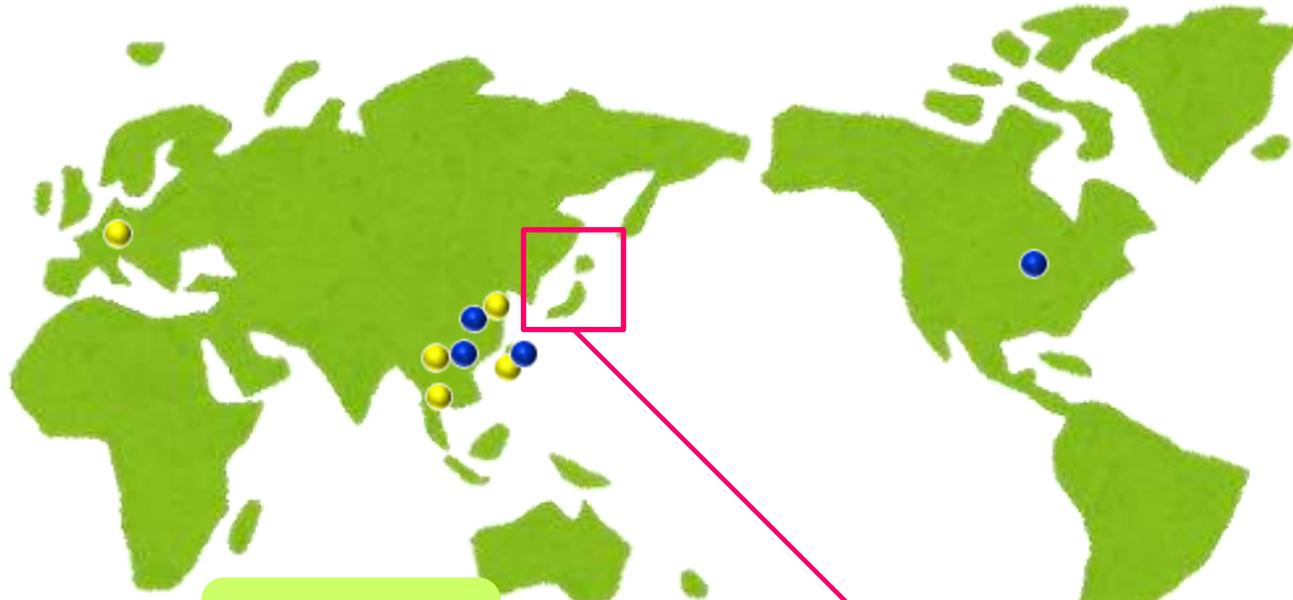
当社の歴史VTRをご覧ください。
(約16分)



明治末期



広がるグローバルネットワーク



海外事業所

● 製造・販売拠点

荒川ヨーロッパ（ドイツ）
広西梧州荒川（中国）
南通荒川（中国）
荒川ケミカル（タイランド）
台湾荒川

● 販売拠点

荒川化学合成（上海）
荒川ケミカル（米国）
日華荒川（台湾）
ボミランテクノロジー（台湾）
香港荒川

国内事業所

製造拠点

大阪工場
富士工場
水島工場
小名浜工場
釧路工場
鶴崎工場

研究所

研究所（大阪）
筑波研究所

販売拠点

本社
東京支店
名古屋支店
営業所 3



大阪から世界へ！



国内関係会社

ペルノックス（秦野）
高圧化学工業（大阪）
山口精研工業（名古屋）
カクタマサービス（大阪）

ネバネバ！ロジンのチカラ

ロジンとは松脂を精製してつくられる樹脂のこと。

松の木にキズをつけると、**ネバネバした松脂**がにじみ出てきます。



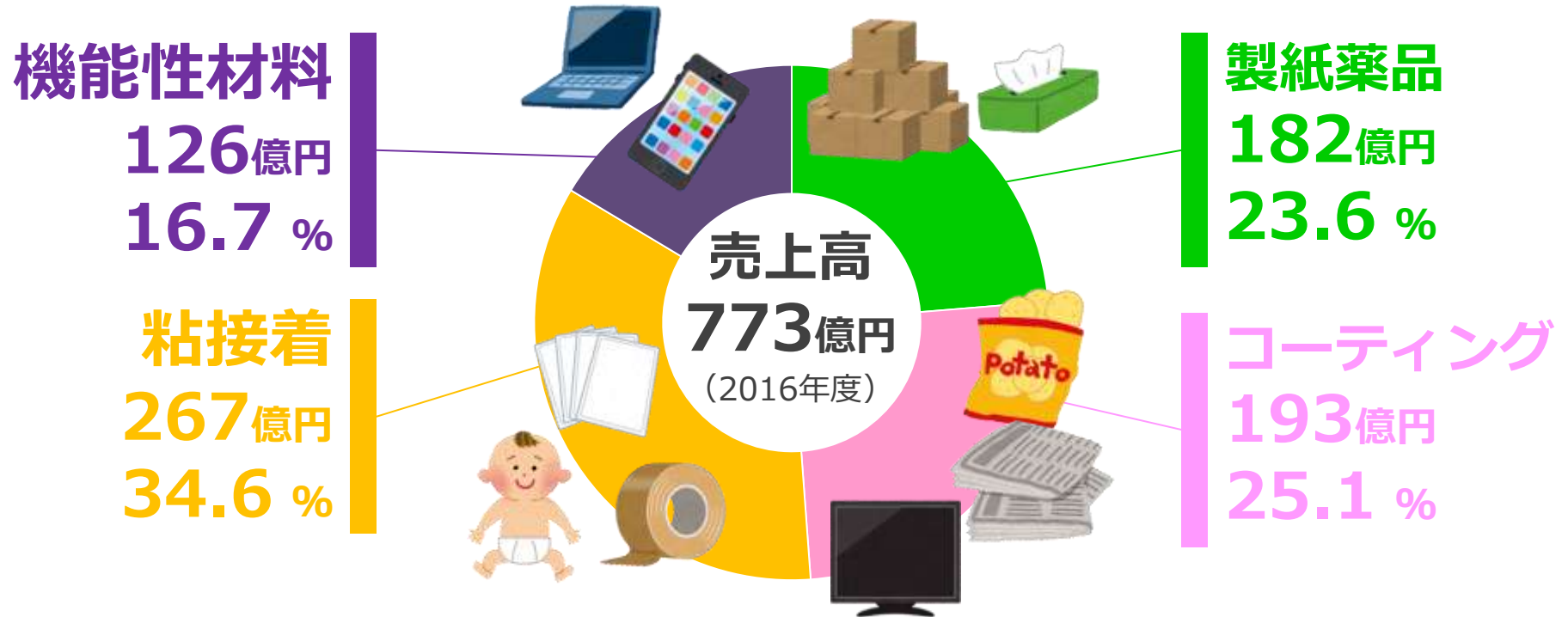
**世界で古くから
使われている天然資源！**

ココにも！つなぐ技術

私たちの技術は身近なところで使われています。
その特徴は、何かと何かを **つなぐ** こと。



事業セグメント



荒川化学のビジネスモデル

- **付加価値の高い**素材と**独自技術**のノウハウを持つ
- **豊富な品揃え**（ロジン系、石油系）
- 顧客ニーズを汲み取り、課題を解決する「**ソリューション**」型ビジネス

つなぐ技術が機能を付与する

 印は主にロジン系製品

荒川化学のつなぐ技術

製紙薬品事業

サイズ剤  にじみをふせぐ

紙力増強剤 丈夫にする

コーティング事業

印刷インキ用樹脂  綺麗に鮮やかに

機能性コーティング剤 表面をまもる

粘接着事業

水素化石油樹脂 くっつくチカラを

粘着・接着剤用樹脂  コントロール

超淡色ロジン  人と環境にやさしい

機能性材料事業

はんだ・精密部品洗浄  安全、環境にやさしい

ユーザーの製品

紙



印刷インキ



ディスプレイ



粘着・接着剤



医療用他



電子材料他



荒川化学の強み

豊富な技術の引き出しと、その応用で多様な要望に応える

・・・たとえば 製紙薬品事業

紙力増強剤

- 国内で**業界トップクラスのシェア**
- ネット通販普及による段ボール増加で需要拡大
→ 段ボールの素材に再利用される古紙は、パルプ繊維が切断され、強度が低下しています。その強度を高める薬品として紙力増強剤が使われています。

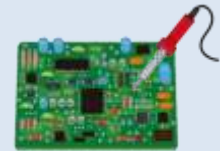


■ 段ボール

・・・たとえば 粘接着事業
(ロジン系)

オンリーワン製品
超淡色ロジン

- 環境に配慮した鉛フリーはんだ用フラックスの**業界標準**
- ライフサイエンス分野にも進出
- 超淡色液状ロジンエステル開発



■ 鉛フリーはんだ用フラックス ■ 医療用貼付剤

(石油系)

世界初 (1965年上市)
水素化石油樹脂

- **世界シェア 10%**
- 世界的に紙オムツの需要拡大
- 共同事業化検討中

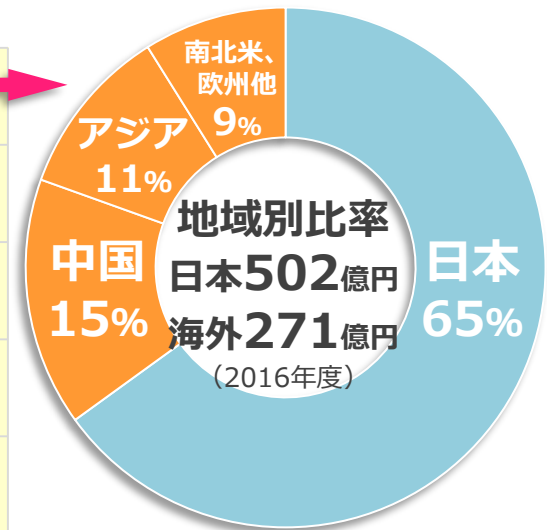
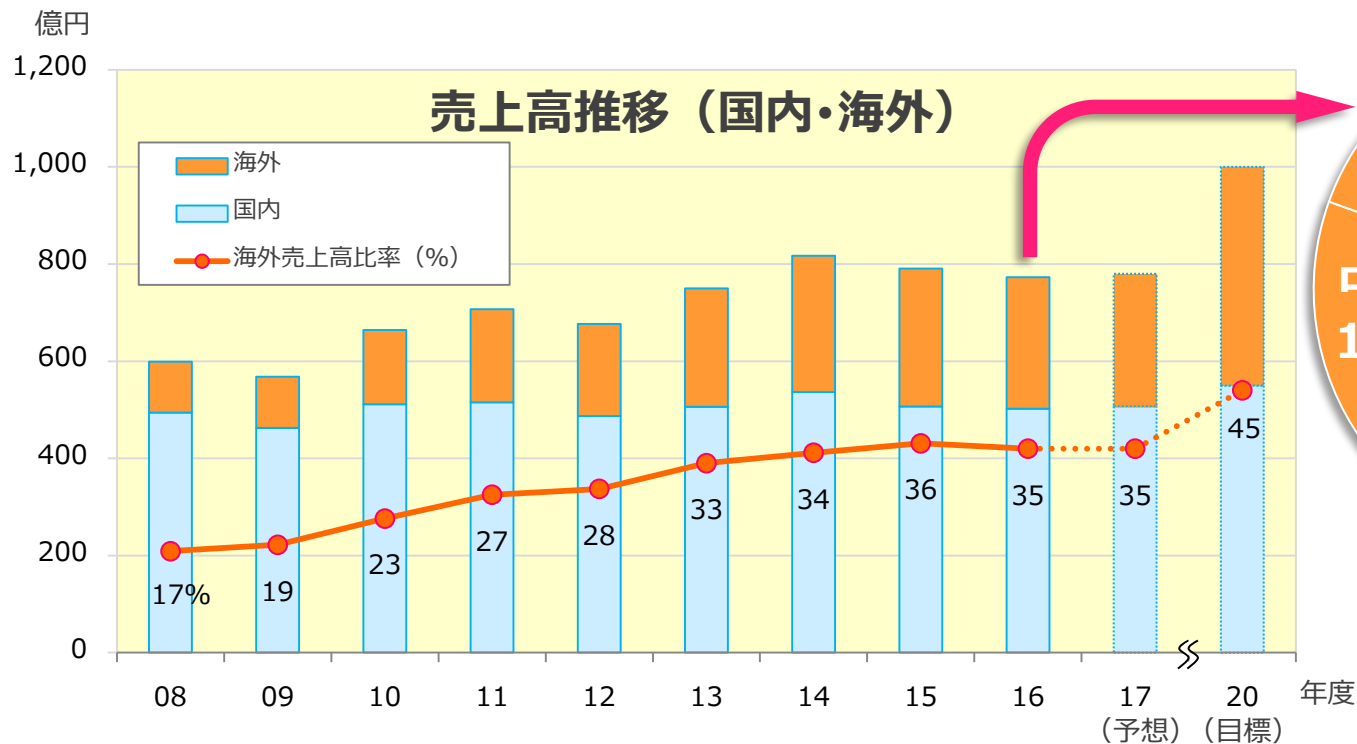


■ 紙おむつ用接着剤

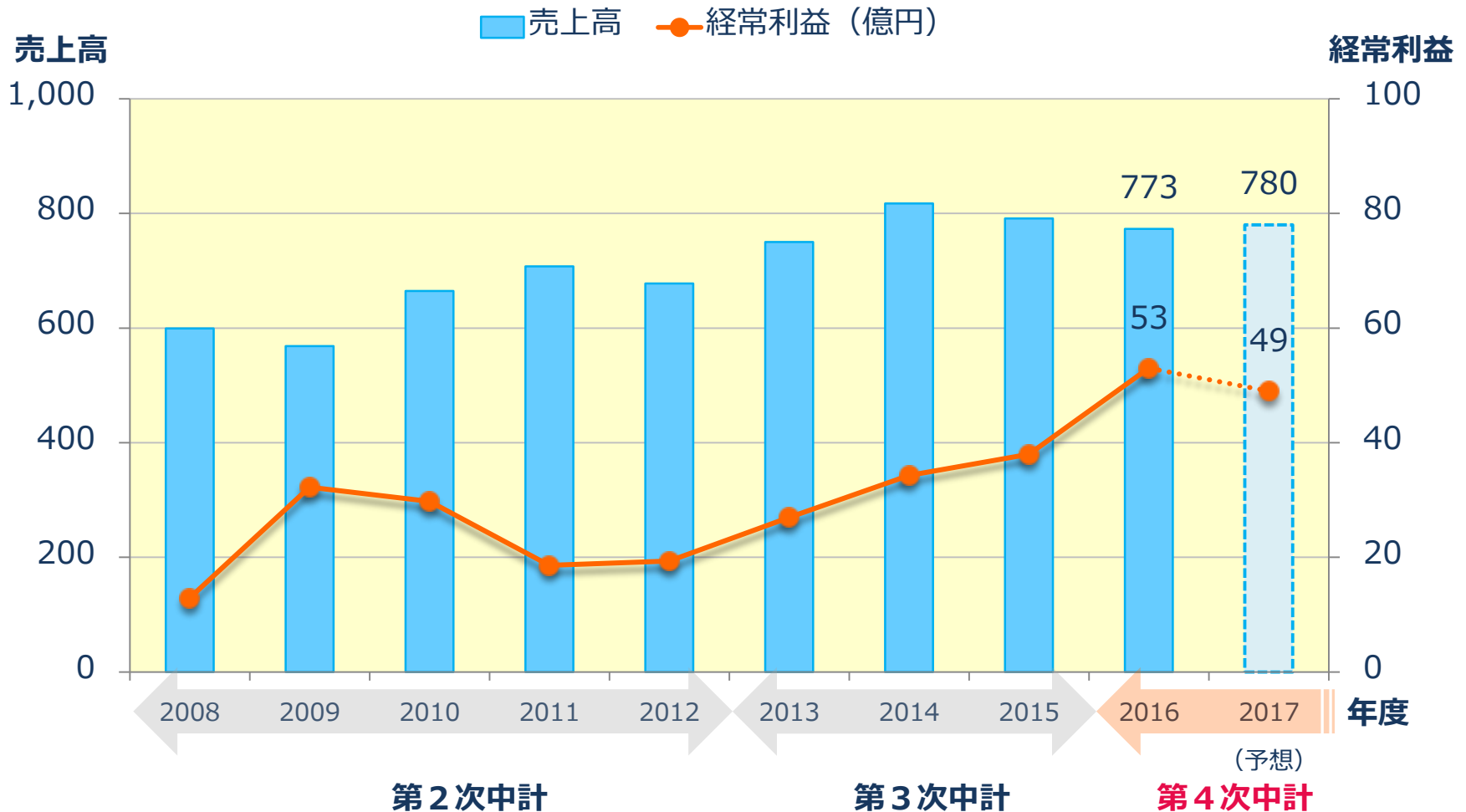
■ 食品容器

荒川化学を取り巻く環境

- 成熟した国内市場では、製紙薬品 / コーティング / 粘接着事業で **業界トップクラスを維持**
- 成長する海外市場では、各事業で **アジアを中心に事業拡大中**



業績推移



財政状態

億円

流動資産 538

現預金 102
売掛債権 271
棚卸資産 150

固定資産 300

有形固定資産 201
無形固定資産 14
投資その他 84

資産 合計 838

負債 323

流動負債 244
短期借入金 79
固定負債 78
社債・長期借入金 53

純資産 515

自己資本 499
資本金 33
資本準備金 35
利益剰余金 388
その他の包括利益累計額 42

負債純資産 合計 838

有利子負債
自己資本倍率
0.27倍

長期発行体
格付(JCR)
A-・安定的

自己資本比率
59.5%

ROE
7.1%

2017年3月末現在

Dramatic SHIFT 1

第4次中期5ヵ年経営計画（2016～2020年度）

Dramatic SHIFT 1

永続的な成長のため、劇的な経営資源の再配置や最適化により、事業の変革を実現し、全社“**1**”丸となって真のグローバル化を目指す。

外部環境

不安定で変化が激しく、先が見通せない

- 国内市場の縮小
- 原材料価格の変動
- 急激な為替変動
- 地政学的リスク など

基本方針と経営目標

SHIFT 実現体制の構築と事業の新陳代謝の実践

1

SHIFT 実現体制の構築

2

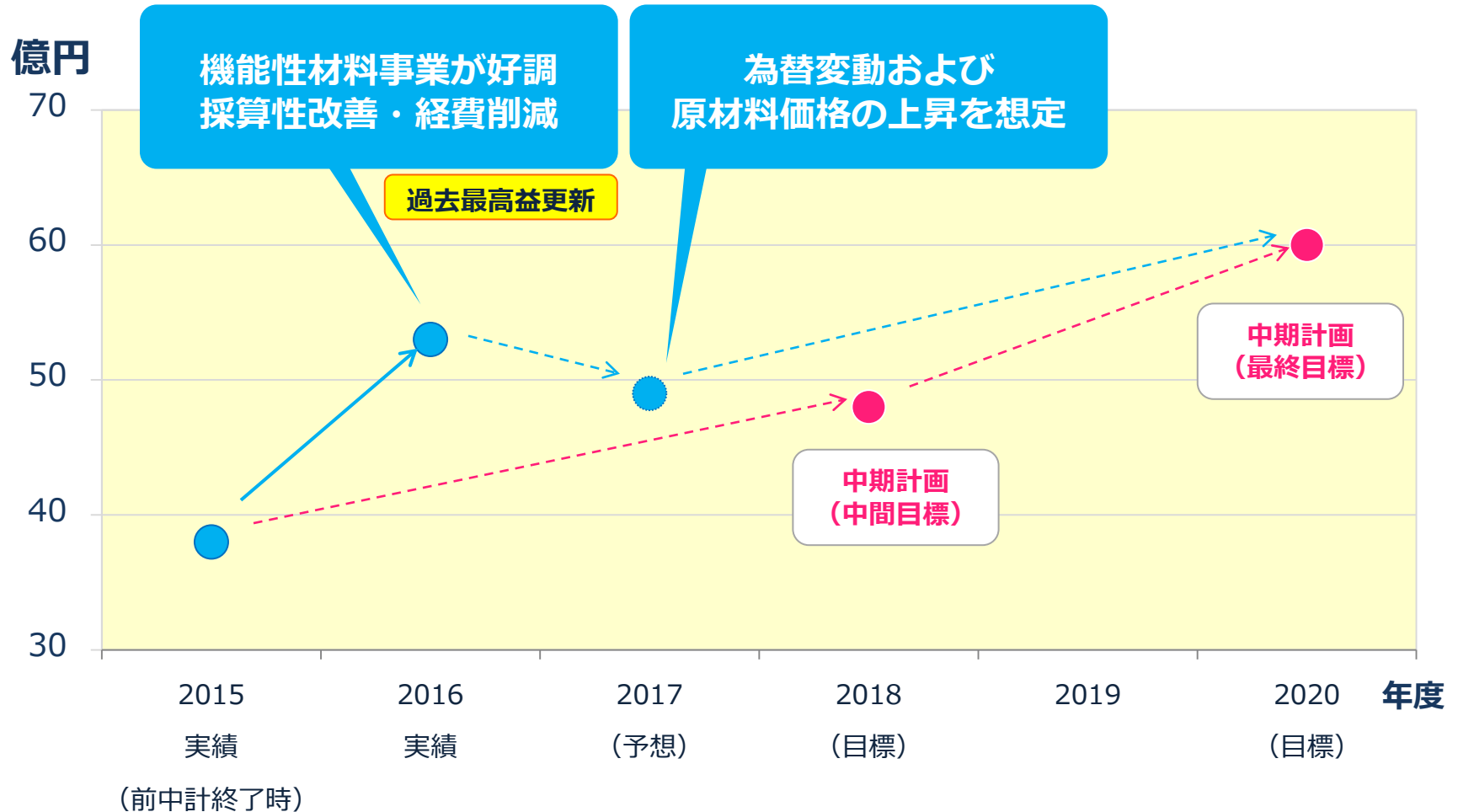
事業の新陳代謝の実践

3

真のグローバル化と
ガバナンス体制強化

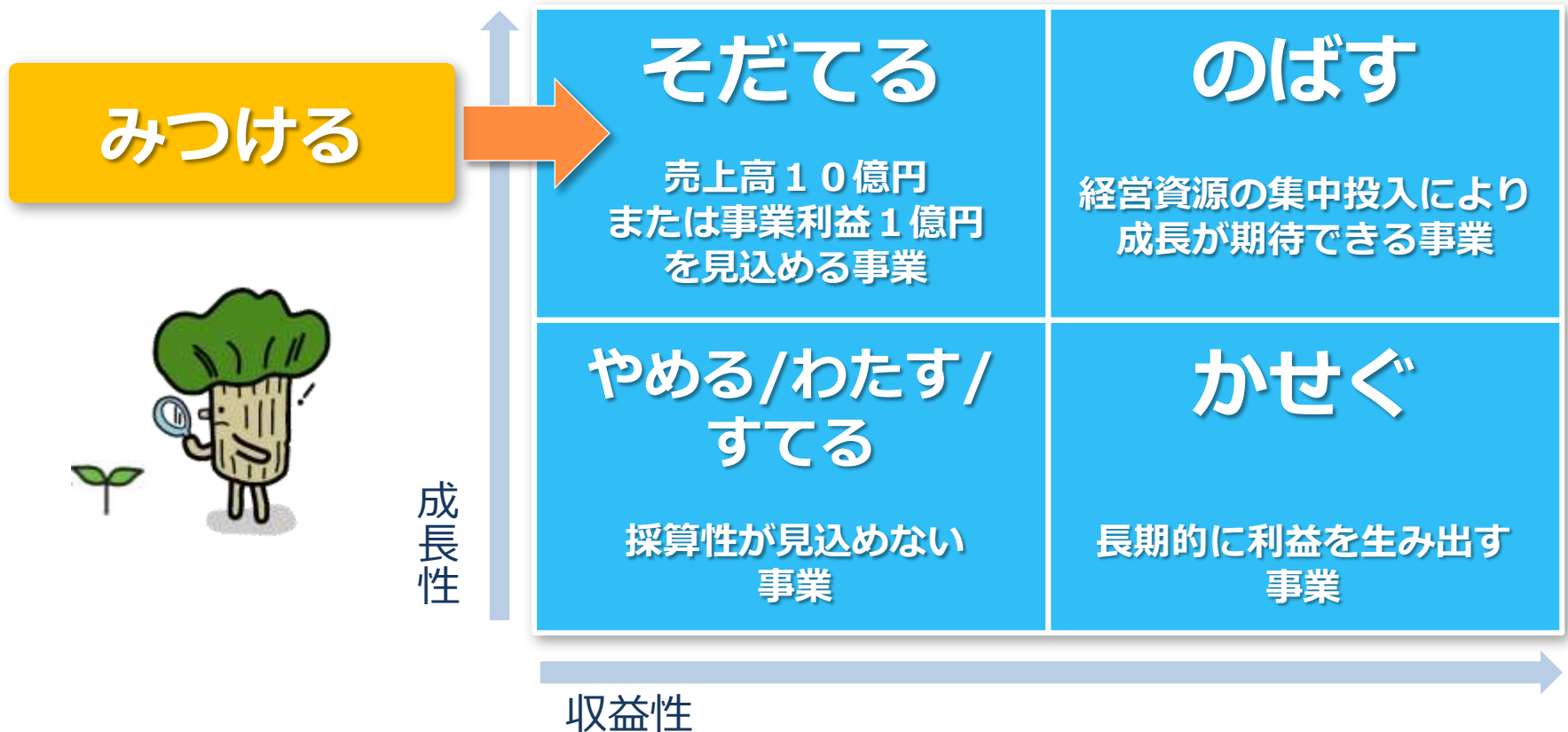
	2015年度 (前中計終了時)	2018年度 (目標)	2020年度 (目標)	5カ年 伸率 (%)	億円
売上高	791	880	1,000	+ 26.4	
営業利益	36	46	58	+ 59.4	
経常利益	38	48	60	+ 55.8	
当期純利益	23	29	37	+ 60.1	
ROE	5.0%	—	≥6.5%		

進捗状況（経常利益）



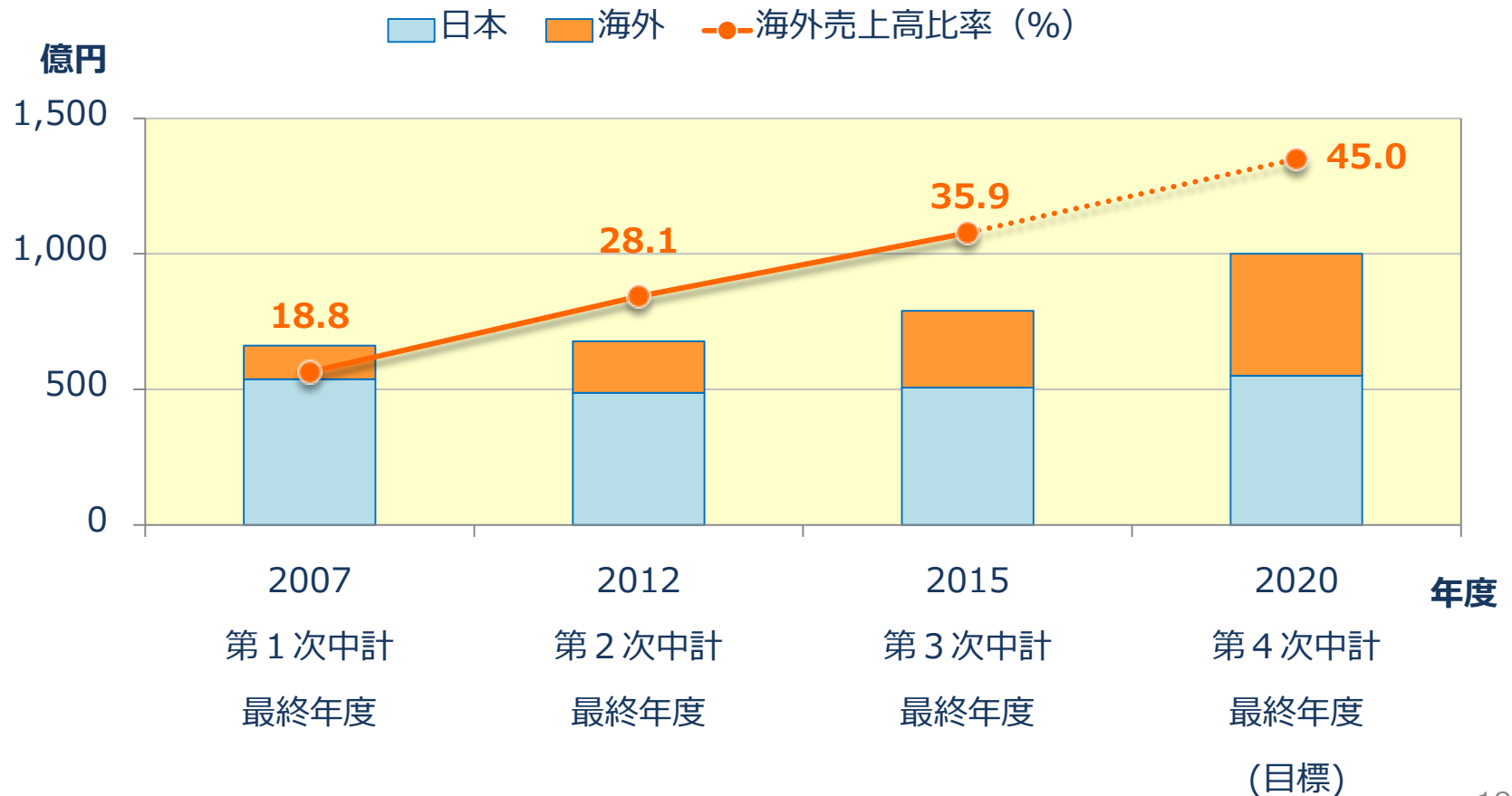
事業の新陳代謝の実践

各事業をミッションに分類。戦略を明確にし、実行する。



真のグローバル化

2020年までに各分野でのアジアNo.1事業の獲得し、海外売上高450億円、海外売上高比率45%を目指す。さらに、2026年には世界No.1事業を有する真のグローバル企業を目指す。



ガバナンス体制強化

経営理念の共有と実践（※**KIZUNA**活動）の継続により、根幹の揺らぐことのない経営を実践する。
それを踏まえて、リスク管理や内部統制制度、コンプライアンス、コーポレートガバナンス・コードへの取組みを徹底し、中長期的な収益性・生産性を高め、好循環につなげることで企業価値の向上と社会貢献に努める。

※**KIZUNA**は、“**ARAKAWA WAY** 5つの**KIZUNA**”の略称であり、
当社グループの大切にしている価値観・行動指針を明文化したもの



集合研修
(KIZUNAワークショップ)



5つの価値観・行動指針

株主・投資家さまとの関わりあい

株主総会（本社開催）



個人投資家説明会



決算説明会

社会貢献活動

- **マツタロウの森**・・・岡山県「企業との協働の森づくり」事業に賛同
アカマツの植栽などに取り組んでいる
- **出張授業・イベント**・・・「楽しく化学する」を基本に小学生対象の体験学習を実施

森づくり



出張授業



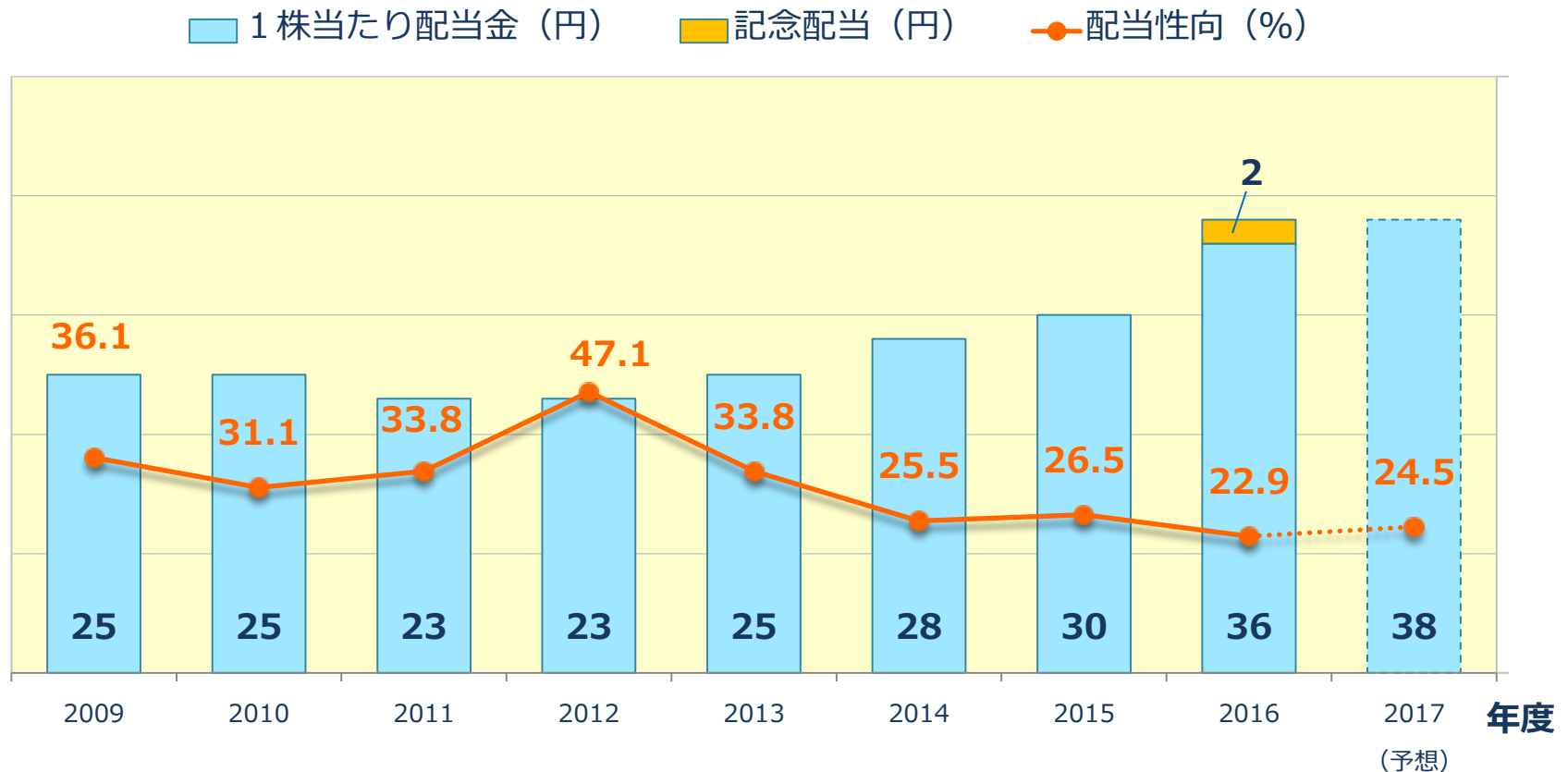
科学のイベント



次代へつなぐ！

配当金の推移

配当性向は安定的、継続的かつ積極的を基本方針として **30%** を目指す。



株価推移



見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

荒川化学工業株式会社



參考資料



連結指標

	2015年度	第4次中計期間 (2016年度～2020年度)
総投資金額（5年間累計）	約90億円 (3年間)	約300億円 (M & A 枠50億円含む)
減価償却費	27億円	40億円（最終年度）
研究開発投資	28億円	40億円（最終年度）
R O E	5.0%	6.5%以上（最終年度）
・収益性（当期純利益率）	2.9%	3.7%以上 収益力の向上
・効率性（総資産回転率）	0.9	1.0倍以上 資産効率の改善
・健全性（財務レバレッジ）	1.8	1.7～2倍 財務健全性の維持

当社グループにおいては、R O E（自己資本純利益率）について売上高当期純利益率を向上させることが最も重要なファクターであると考えています。

株式情報

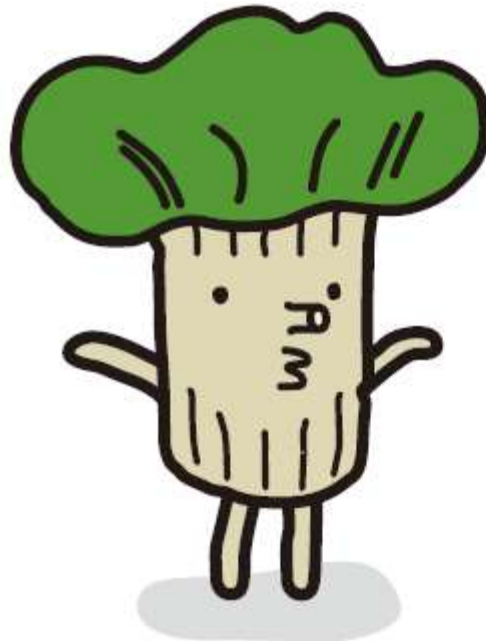
証 券 コ ー ド	4968
決 算 期	3月
上 場 取 引 所	東証1部
単 元 株	100 株
株 価	2,715 円 (2017年10月27日 終値)
最 低 所 要 金 額	271,500 円
配 当 利 回 り	1.40 %
P E R	17.51 倍
P B R	1.01倍
発 行 済 株 数	20,652,400 株 (2017年3月末現在)
長期発行体格付	A - : 安定的 (J C R)

沿革

1876年	(明治9年)	大阪で生薬商として創業
1914年	(大正3年)	嶋野工場を開設し、ロジンの製造開始
1928年	(昭和3年)	ロジン系塗料用樹脂の製造開始
1937年	(昭和12年)	ロジン系印刷インキ用樹脂の製造開始
1954年	(昭和29年)	製紙用薬品（サイズ剤）の製造開始
1967年	(昭和42年)	台湾に天立化学（現 台湾荒川化学）を設立
1977年	(昭和52年)	荒川林産化学工業(株)から荒川化学工業(株)に改称
1995年	(平成7年)	中国に梧州荒川化学を設立
1999年	(平成11年)	大証第二部に株式上場
2003年	(平成15年)	東証・大証第一部に株式上場 日本ペルノックス（現 ペルノックス）が当社グループに加入
2004年	(平成16年)	中国に南通荒川化学、広西荒川化学を設立
2008年	(平成20年)	中国に広西梧州荒川化学を設立
2010年	(平成22年)	ダウ・ケミカル社のドイツの「アルコン」事業を取得
2011年	(平成23年)	中国に荒川化学合成（上海）有限公司を設立
2012年	(平成24年)	台湾に柏彌蘭科技股份有限公司（ポミラン・テクノロジー社）を設立
2014年	(平成26年)	台湾に日華荒川化学股份有限公司を設立
2015年	(平成27年)	山口精研工業（名古屋）が当社グループに加入

マツタロウとロジーナ紹介

ふたりは、**松の妖精の子供**。ふだんは松林に住んでいるけど、ときどき街でも遊んでいます。松の木からロジンがとれることは知っていたけど、**こんなところにも役立っていたなんて！**と発見が多くて、街で遊ぶのがますます楽しくなってきました。かくれんぼが大好きだから、**あなたの近くにも隠れているかもしれませんよ。**



マツタロウ

2006年誕生



ロジーナ

2016年誕生

CM公開中!

CM「粘着テープ」編と「インキのにじみ止め」編をホームページで公開中です。
スマートフォンなどで添付のQRコードを読み取っていただくと、直接CMコーナーに
アクセスできます。動くマツタロウとロジーナをお楽しみください!



QRコード



QRコードを読み取るには、読み取り機能のある携帯電話か、スマートフォンをご利用ください。スマートフォンの場合は、専用のアプリをダウンロードする必要があります。



会社概要

■2017年3月末現在

商 号	荒川化学工業株式会社
所 在 地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代 表 者	取締役社長 谷奥 勝三
創 業	明治9年（1876年）
会 社 設 立	昭和6年（1931年）
資 本 金	33億4,315万円
従 業 員 数	1,442名（連結）
主 要 取 引 先 （五十音順）	・王子ホールディングス ・関西ペイント ・JSR ・東洋インキSCホールディングス ・日東電工



1926年（大正15年）商標登録

当時としてはモダンなアルファベット表記